

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名)

除外 3社 (社名) FVCグロース投資事業有限責任組合、FVCA Holdings, LLC、FVC Americas, LLC

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期2Q	8,902,600株	2019年3月期	8,902,600株
2020年3月期2Q	1,257株	2019年3月期	1,257株
2020年3月期2Q	8,901,343株	2019年3月期2Q	8,901,379株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における株式市場は、4月に21千円ほどであった日経平均株価はほぼ横ばいで推移したものの、諸外国の政策動向の影響や地政学リスク等の影響が懸念され、先行きは不透明な状況です。

一方で、新規上場市場においては、当第2四半期連結累計期間における新規上場社数が30社と、前年同期の49社と比べて減少しており、新規上場を目指す企業群にとっては厳しい環境が形成されております。

このような環境の中、当社では新規上場に依存しないビジネスモデルを形成するために、事業領域の拡大及び安定収入の獲得に向けた取り組みを進めております。

安定収入かつ将来のキャピタルゲイン獲得に結びつく新規ファンドの設立については、地方創生ファンドとして、第一勧業信用組合、全国信用協同組合連合会、恒信サービス株式会社と共同でかんしん事業承継支援投資事業有限責任組合を、諏訪信用金庫と共同でSUWASHIN地域応援ファンド1号投資事業有限責任組合を、徳島銀行、香川銀行と共同で地域とトモニ1号投資事業有限責任組合を、さらには大阪信用金庫と3つ目となるおおさか事業承継・創業支援投資事業有限責任組合を同金庫、大阪信用保証協会と共同で設立いたしました。

また、いわゆるクラシカルなベンチャーキャピタル業務からイノベーションとリスクマネー供給のためのプラットフォーム会社へと事業モデルの変革に取り組んでおり、人員体制の強化等により費用が先行しております。

当第2四半期連結累計期間における経営成績を見てまいりますと、新規ファンドの設立により投資事業組合管理収入は増加しましたが、未上場の営業投資有価証券の売却が前年同期と比べて減少したこと等により、売上高は205百万円(前年同四半期290百万円)と減収となり、営業損失は76百万円(同61百万円)と減益となりました。一方、前年同期において非支配株主持分が大きい子会社の利益発生額が大きかったことから、親会社株主に帰属する四半期純損失は43百万円(同78百万円)と赤字幅は縮小いたしました。

(営業投資関連損益の状況)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	増減
営業投資有価証券売上高	144	21	△122
営業投資有価証券売却額 (上場)	—	—	—
営業投資有価証券売却額 (未上場)	144	0	△144
営業投資有価証券利息・配当金	0	21	21
営業投資有価証券売上原価	80	0	△80
営業投資有価証券売却原価 (上場)	—	—	—
営業投資有価証券売却原価 (未上場)	80	0	△80
(係る投資損失引当金戻入額(△))	(—)	(—)	(—)
減損等	0	0	0
営業投資有価証券減損額	0	0	△0
(係る投資損失引当金戻入額(△))	(△0)	(—)	(0)
投資損失引当金繰入額	△0	0	0
営業投資関連損益	64	20	△43

(注) 当第2四半期連結会計期間末における営業投資有価証券に対する投資損失引当金の割合は、1.1%(前連結会計年度末0.7%)となりました。

(投資の状況)

当第2四半期連結累計期間における当社の投資実行の状況は、43社、723百万円(前年同四半期35社、660百万円)となり前年同四半期に比べ8社、63百万円増加しております。また、当第2四半期連結会計期間末における投資残高は216社、4,201百万円(前連結会計年度末184社、3,517百万円)となりました。

①証券種類別投資実行額

証券種類	投資実行額			
	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
	金額(百万円)	投資企業数(社)	金額(百万円)	投資企業数(社)
株式	557	34	596	35
社債等	102	1	127	9
合計	660	35	723	43

- (注) 1. 投資企業数の合計値は、株式、社債等双方に投資している重複社数を調整しております。
2. 金額及び投資企業数は、連結グループ間の取引及び持分法適用の投資事業組合によるものを含めておりません。

②証券種類別投資残高

証券種類	投資残高			
	前連結会計年度末 (2019年3月31日)		当第2四半期連結会計期間末 (2019年9月30日)	
	金額(百万円)	投資企業数(社)	金額(百万円)	投資企業数(社)
株式	3,065	167	3,636	195
社債等	451	22	564	29
合計	3,517	184	4,201	216

- (注) 1. 投資企業数の合計値は、株式、社債等双方に投資している重複社数を調整しております。
2. 金額及び投資企業数は、連結グループ間の取引及び持分法適用の投資事業組合によるものを含めておりません。

(投資先企業の上場状況)

当第2四半期連結累計期間において上場した投資先企業はありません。

(投資事業組合の状況)

	前連結会計年度末 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (2019年9月30日)
投資事業組合出資金総額 (百万円)	22,423	14,898
投資事業組合数 (組合)	32	36

(注) 「投資事業組合出資金総額」は、コミットメント総額であります。

①出資金総額が増加した投資事業組合

当第2四半期連結累計期間において出資金総額が増加した投資事業組合は、以下の7組合であります。

(単位：百万円)

投資事業組合名	増加した出資金額	増加の理由
日高見の国地域振興投資事業有限責任組合	4	追加出資
日本スタートアップ支援1号投資事業有限責任組合	440	新規設立
かんしん事業承継支援投資事業有限責任組合	300	新規設立
SUWASHIN地域応援ファンド1号投資事業有限責任組合	500	新規設立
こうべしんさんステップアップ投資事業有限責任組合	30	追加出資
地域とトモニ1号投資事業有限責任組合	701	新規設立
おおさか事業承継・創業支援投資事業有限責任組合	500	新規設立
合計(7組合)	2,475	

②出資金総額が減少した投資事業組合

当第2四半期連結累計期間において出資金総額が減少した投資事業組合は、以下の1組合であります。

(単位：百万円)

投資事業組合名	減少した出資金額	減少の理由
FVCグロス投資事業有限責任組合	10,000	全財産の分配完了
合計(1組合)	10,000	

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、2,891百万円(前連結会計年度末3,021百万円)となりました。その内訳は流動資産2,160百万円(同2,307百万円)、固定資産730百万円(同714百万円)です。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、163百万円(同202百万円)となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純損失43百万円を計上したこと、非支配株主持分が54百万円減少したこと等により、2,727百万円(同2,819百万円)になりました。なお、純資産には投資事業組合の組合員の持分である非支配株主持分等が含まれるため、これらを控除して算出した自己資本は2,591百万円(同2,628百万円)、自己資本比率は89.6%(同87.0%)になりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「キャッシュ」という)は、前連結会計年度より165百万円減少し、1,973百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは99百万円のキャッシュアウトフロー(前年同四半期14百万円のキャッシュアウトフロー)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失32百万円、持分法による投資利益53百万円、営業投資有価証券の増加10百万円、前受金の減少30百万円、利息及び配当金の受取額29百万円によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは2百万円のキャッシュアウトフロー(同19百万円のキャッシュアウトフロー)となりました。これは主に、敷金及び保証金の差入による支出2百万円によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは64百万円のキャッシュアウトフロー(同123百万円のキャッシュアウトフロー)となりました。これは主に、非支配株主に対する分配金による支出64百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、業績予想を行っておりません。詳細は、サマリー情報「3. 2020年3月期の連結業績予想」のとおりであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,139	1,973
営業投資有価証券	124	135
投資損失引当金	△0	△1
その他	43	53
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	2,307	2,160
固定資産		
有形固定資産	6	3
無形固定資産	2	2
投資その他の資産		
投資有価証券	20	20
関係会社株式	637	660
その他	46	42
投資その他の資産合計	705	723
固定資産合計	714	730
資産合計	3,021	2,891
負債の部		
流動負債		
預り金	4	2
賞与引当金	16	21
前受金	112	81
その他	37	28
流動負債合計	171	134
固定負債		
退職給付に係る負債	26	24
その他	4	3
固定負債合計	30	28
負債合計	202	163
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,943	1,943
資本剰余金	1,723	1,723
利益剰余金	△1,029	△1,073
自己株式	△2	△2
株主資本合計	2,634	2,590
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	0
為替換算調整勘定	△10	-
その他の包括利益累計額合計	△6	0
新株予約権	14	14
非支配株主持分	176	122
純資産合計	2,819	2,727
負債純資産合計	3,021	2,891

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高		
営業投資有価証券売上高	144	21
投資事業組合管理収入	102	145
コンサルティング収入	17	13
コワーキング収入	24	24
その他の売上高	2	0
売上高合計	290	205
売上原価		
営業投資有価証券売上原価	80	0
投資損失引当金繰入額又は戻入額(△)	△0	0
その他の原価	150	169
売上原価合計	230	169
売上総利益	59	35
販売費及び一般管理費	121	112
営業損失(△)	△61	△76
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	0
持分法による投資利益	22	53
為替差益	-	0
その他	1	0
営業外収益合計	24	53
営業外費用		
為替差損	0	-
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常損失(△)	△37	△23
特別損失		
関係会社株式売却損	-	6
固定資産除却損	-	1
事務所移転費用	-	0
特別損失合計	-	9
税金等調整前四半期純損失(△)	△37	△32
法人税、住民税及び事業税	1	1
法人税等調整額	0	△0
法人税等合計	2	0
四半期純損失(△)	△40	△33
非支配株主に帰属する四半期純利益	37	10
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△78	△43

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△40	△33
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△3
為替換算調整勘定	6	10
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	7	6
四半期包括利益	△33	△26
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△71	△37
非支配株主に係る四半期包括利益	37	10

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△37	△32
減価償却費	0	1
株式報酬費用	6	0
有形固定資産除却損	—	1
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	6
投資損失引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1	4
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1	△1
受取利息及び受取配当金	△0	△0
持分法による投資損益 (△は益)	△22	△53
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	69	△10
未収入金の増減額 (△は増加)	△2	△8
未払金の増減額 (△は減少)	6	△6
前受金の増減額 (△は減少)	△39	△30
預り金の増減額 (△は減少)	0	△2
その他	△2	△3
小計	△25	△134
利息及び配当金の受取額	25	29
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△15	5
営業活動によるキャッシュ・フロー	△14	△99
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2	△0
敷金及び保証金の差入による支出	—	△2
出資金の払込による支出	△16	—
その他	0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー		
非支配株主に対する分配金による支出	△123	△64
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△123	△64
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△157	△165
現金及び現金同等物の期首残高	2,201	2,139
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,044	1,973

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。